

リーディングDXスクール事業【実践事例】

静岡市立安倍川中学校(静岡市)【指定校】

【取組内容】①協働的に学ぶ短歌の授業(中2国語)

中学2年生の短歌の単元で生徒たちに短歌を制作させるが、一人一台端末を使い、それぞれが自分の短歌を入力していく。お互いの制作の過程がわかり自然と対話が生まれていくようになった。

比喩表現など優れた作品についてコメントしたり、自らの作品に生かそうとしたりする姿が見られた。

従来の授業形態だと制作した短歌をノートや短冊に書いて発表する形であったが、画面に表示される制作の過程をお互いに見合うことにより、アドバイスや感想を言いやすい環境となり、楽しみながらより深い学びにつなげることができた。

さらに、各自の短歌と紹介文を用いて来年度の入学制に向けた学校紹介短歌スライドを作成し、主体的に編集作業を進めた。



Welcome to Abekawa Junior High School!

短歌でつづる安倍川中 202 3班

汗流し終わった後の校庭は
いつもと違う なぜか寂しい
体育祭を全力でやり汗を流した後の校庭を見た誰にもいなくいつも
誰もいなくいつもと違って寂しい気持ちになった

珍しく 円陣組んで 勝ちたいと
思い走った リレー直前

夏朝 学び舎見上げ 夏の朝 風にあおられ 瞳さえぎる
リレーで勝ちたいと思えば、普段はしない円陣を組んで自分の待機場所に走っていったとき

登校して校舎を見上げていると風で髪があおられ、私の視界をさえぎるという短歌です

新学期 不安と希望 抱えてる
皆が同じ気持ちだろうか

4月のクラス替えで誰と同じになるかの不安と仲がいいことと同じになりたいという希望を表した短歌です

迫る敵 抜かされまいと 本気出す
後押しするのは 君の応援

去年の体育祭の学年種目でリレーをやったその時、広麻くんが応援してくれて敵に抜かされないうちに頑張ったことを書きました

Googleスライドを使い、短歌を同時に作成し、互いに評価しあう。

